

進路ニュース

2024年度 5月号 No. 305



茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

入学・進級から1か月が過ぎました。新担任との面談が終わり、放課後の課外授業も始まりました。新年度が本格的にスタートした今、改めて今年度の目標を思い起こしてください。その目標達成のために、今すべきことは何か？自分の現状と課題を把握し、毎日の授業や家庭学習にどう取り組むべきか考えてみてください。また、今月20日からは定期考査Ⅰが実施されます。1年生にとっては初めての定期考査となります。しっかりと対策をして試験に臨んでください。

〈1年生へ〉 ～ 予習→授業→復習 のサイクルで高校レベルの学習スタイルを身に付けよう ～

高校の授業はどのように感じましたか。どの教科もまだ高度な内容にはなっておらず、中学までの“学力貯金”もあって、比較的理解できていることと思います。学校にも慣れて緊張感が薄れるに従って、学習に対する取組みが疎かになる人が出てきます。決して油断することなく、余裕のある今のうちに**予習→授業→復習のサイクル**を身に付けることです。そして定期試験や模擬試験を勉強のペースメーカーとし、目標を立てて家庭学習の充実を図ってください。なお、部活動の試合で授業を数回抜けたことがきっかけとなり、授業がわからなくなってしまうことがあります。そのままにしておくとその教科が苦手となり、文理選択や将来の進路選択にも影響します。家庭学習をしっかりとすることや、友達や先生に質問するなど、個別に必要な対策を取ってください。好きな部活動をしているのですから、学習面でもそれに見合った努力が必要です。

〈2年生へ〉 ～ 勉強の質の転換と進路研究を ～

課題考査の結果はどうでしたか。部活動や生徒会活動で中心となる一方、授業内容も文系・理系それぞれの専門的分野が加わって難易度も高くなっていきます。**覚える勉強から考える勉強へ**と質の転換が必要です。“時間が足りない”と感じている人も多いのではないのでしょうか。先輩の受験体験談や1年生の経験と反省を生かし、**優先順位を付けて**学習計画を立ててください。オープンキャンパスやインターンシップ、看護体験等への参加など、進路研究も必要です。中堅学年としてタイムマネジメントをしっかりと行い、授業・部活動・受験対策と中身の濃い高校生活を送ってください。

〈3年生へ〉 ～ 逆算してプランニング、夏までは授業中心の学習で ～

公務員希望者は6月から、就職希望者は7月から、申し込みや試験対策がスタートします。担任の先生との面談や保護者の方との話し合いをしっかりと行い、一つ一つ確認しながら準備を進めてください。進学希望者は、総合型選抜や学校推薦型選抜、一般選抜などの様々な入試方法を研究しましょう。また、入試科目の検討と受験に対応できる基礎固めをする必要があります。そのために、**夏までは授業中心の学習とし、苦手分野の克服と基礎力の完成**を目指してください。

《 5月の進路関係行事 》

- | | |
|---------------|---------------|
| 10日(金) | 第2回公務員講座 |
| 20日(月)～22日(水) | 定期考査Ⅰ(1～3年) |
| 24日(金) | 第3回公務員講座 |
| 24日(金)・28(火) | 就職・公務員模試①(3年) |
| 25日(土) | 実用英語検定① |



☆ 進学情報 ～志望校の選び方～

受験生にとって、受験勉強と同様に大切なのが「志望校選び」です。大学数は年々増加し、学校基本調査（文部科学省）によれば、2023年度の大学数は810校にのぼります。2019年度から専門職大学が開設され、短期大学から（4年制）大学への移行などもあり、今後も大学数は増加するでしょう。一方、18歳人口は減少傾向にあり、数字上では希望者全員が大学に合格できる「全入時代」を迎えています。大学入学自体の価値は相対的に小さくなり、「どの大学で、何を、どう学んだのか」がますます問われることになりました。

志望校の選択は、その後のキャリア形成に大きな影響を与えることになります。「この科目は苦手だから」「成績がこのくらいだから」などという消極的な理由で志望校を選択してしまうと、後々後悔をすることになるでしょう。進路を決めるのは簡単なことではありませんが、自分は何に興味があって何を学んでいきたいのか、どんな職業に就きたいのか、その目標のためにどのような学部・学科を目指せばいいのか、自分自身の方向性をしっかり考えてみるようにしましょう。

〈志望校選びのポイント〉

① 自分の将来を考える

志望校・志望学部を選ぶ前に最初にするべきことは、自分の将来の進むべき方向について真剣に考えることです。できれば、比較的時間に余裕のある高1から高2の間に、「何を学びたいのか」「どのような職業に就きたいのか」をじっくり考えてみるとよいでしょう。興味のある学問分野や職業に関する書籍を読んだり、インターネットで関連サイトを閲覧したりして、積極的に考えるための情報を収集しましょう。

② 進みたい学部・学科を見つける

自分の将来の方向性がある程度見えてきたら、目標を達成するために必要な専門知識やスキルを学ぶことができる学部・学科を調べてみましょう。看護師や建築士など、職業や資格と専門の学部が直結している場合はわかりやすいですが、そうでない場合は、まず大学にどんな学部・学科があるかを調べて、その中から自分の目標に適した学部・学科を探していくとよいでしょう。

③ 個別の学校を調べる

学びたい分野や学部・学科が決まったら、受験校を決めることになります。ただし、入試難易度や知名度だけで学校を選ぶと入学した後で後悔することにもなりかねません。大学を中退する原因の一つが、学生と大学とのミスマッチによるものと言われています。受験前に自分の目的や性格に合った学校かどうか、オープンキャンパスなどを利用してあらかじめ自分自身の目でしっかりと確かめることが重要です。

〈選択のポイント〉

- ・カリキュラムの特徴
- ・教員の研究内容
- ・就職や大学院進学状況
- ・学費および奨学金や学生支援の充実度
- ・キャンパスの雰囲気、施設・設備の充実度
- ・学生数（入学者数・退学者数）
- ・留学プログラムの充実度

（参考：東進進学情報）

